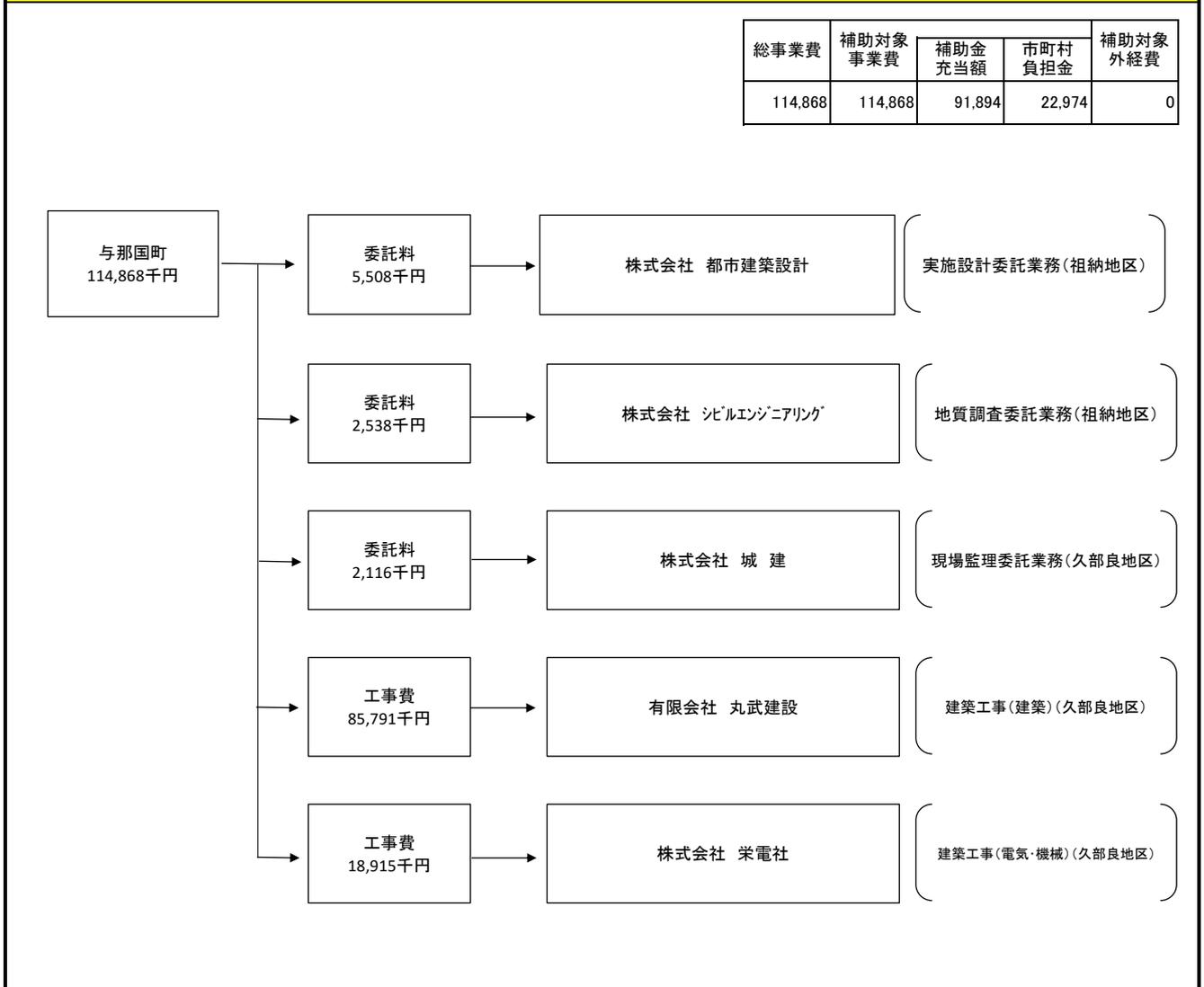


市町村名	与那国町						
平成元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	農林水産業新規就業者用定住型住宅確保事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/>	産業振興	
					<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進	
					<input type="checkbox"/>	その他	
担当部署名	与那国町役場産業振興課			事業実施(予定)年度	平成29年 ~ 令和元年度		
事業内容	農林水産業への新規就業者を島外から受け入れ、定住促進を図るため、移住者を受け入れる住宅を整備する。						
先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/>	自立性	<input checked="" type="checkbox"/>	政策間連携	<input checked="" type="checkbox"/>	離島活性化を担う人材の確保・育成	
	<input type="checkbox"/>	官民協働	<input type="checkbox"/>	事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/>	その他	
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	(a)当初予算額	16,086	0	123,355	0		
	(b)予算現額	16,086	0	123,355	0		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0		
	(d)繰越額	0	16,086	0	123,355		
	A.計(b+d)	16,086	16,086	123,355	123,355		
	B.執行済額	0	5,724	0	114,868		
	うち補助金充当額	0	4,579	0	91,894		
	次年度繰越額	16,086	0	123,355	0		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	35.6%	0.0%	93.1%		
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者が島外にあり、用地価格交渉及び所有権移転登記手続きに時間を要したことにより委託業務の着手が遅延し年度内の業務完了が困難となり、不測の日数を要したため繰越しを行った。 ・当初計画していた久部良地区建築工事、祖納地区設計業務について適正に執行できた。不用額8,487千円については、建築工事の入札残によるもので。 						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度(繰越)	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
	久部良地区定住住宅の新築工事	目標	(設計業務実施)	(建築工事)	()	()	
		実績	設計業務実施	建築工事			
	祖納地区定住住宅の設計実施	目標	()	(設計業務実施)	()	()	
実績			設計業務実施				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・久部良地区定住住宅を整備し、R1年9月13日に供用を開始した。8 ・祖納地区設計業務及び地質調査業務について、それぞれR1年8月、R1年5月に完了した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度(繰越)	H30年度(繰越)	R1年度	目標値(年度)
	久部良地区定住住宅(漁業従事者向け)入居する移住世帯数	目標	/	(-)	(-)	(3世帯)	()
		実績	-	-	-	3世帯	-
	成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度(繰越)	H30年度(繰越)	R1年度	目標値(R3年度)
	祖谷地区定住住宅(農業従事者向け)入居する移住世帯数	目標	/	(-)	(-)	(-)	(3世帯)
実績		-	-	-	-	-	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・久部良地区については、令和元年9月に3世帯入居を受け入れ、成果目標を達成した。 ・祖納地区については、R3年3月に供用開始し、R3年度には整備した3戸すべてに移住世帯が入居することを目標としている。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・久部良地区については、定住促進住宅整備完了に伴い、漁業従事者の新規移住者の継続的な確保が課題となっている。 祖納地区においては、定住促進住宅整備後により効果的に移住者の受入ができるような入居要件の設定が課題となる。</p>	<p>・久部良地区については、新規移住者を安定的に確保するため、広報や周知等を積極的に行う必要がある。 ・祖納地区について、定住促進住宅は移住者を受け入れるための施設と捉え、移住の促進及び移住者の島への定着が達成できるような入居要件を設定する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・久部良地区については、今後も新規就業者の確保を図るため、行政と漁業協同組合による就業者フェアの開催や町ホームページへ事業概要・移住者の声を掲載する等、積極的に広報・周知等を行う。 ・祖納地区について、継続的な移住者の受入れと移住後一定期間が経過した者の島への定着ができるよう、定住促進住宅への入居期間を3年程度とするなどの要件を設定し、例規に定める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・費目の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事及び委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算は単価及び業者見積りにより行った。また、不用額は事業費の10%以内であり、敵石な規模であったと考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については精算段階において検査、確認しており、目的に即し適正であった。